

## 第2期「津山市まち・ひと・しごと創生総合戦略」実績報告（令和3年度）

## 総合戦略が目指す2つの大目標

- (1) あらゆる施策を講じて人口減少・少子化を食い止め、人口構造の若返りを図り、まちの活力を創出する。  
 (2) 住みやすさを追求し、住み続けたい・住んでみたい、誇りに思えるまちを実現する。

## 大目標に係る令和3年度の数値

## 人口の現状

令和3年	毎月流動人口	99,013人
令和2年	国勢調査結果	99,937人

## 令和3年の年齢区分人口（毎月流動人口）

年少人口（0歳～14歳）	12,231人	(12.3%)
生産年齢人口（15～64歳）	54,516人	(55.1%)
前期高齢者人口（65～74歳）	14,676人	} (30.9%)
後期高齢者人口（75歳～	15,880人	
※年齢不詳人口は含まない		(1.7%)

## 合計特殊出生率

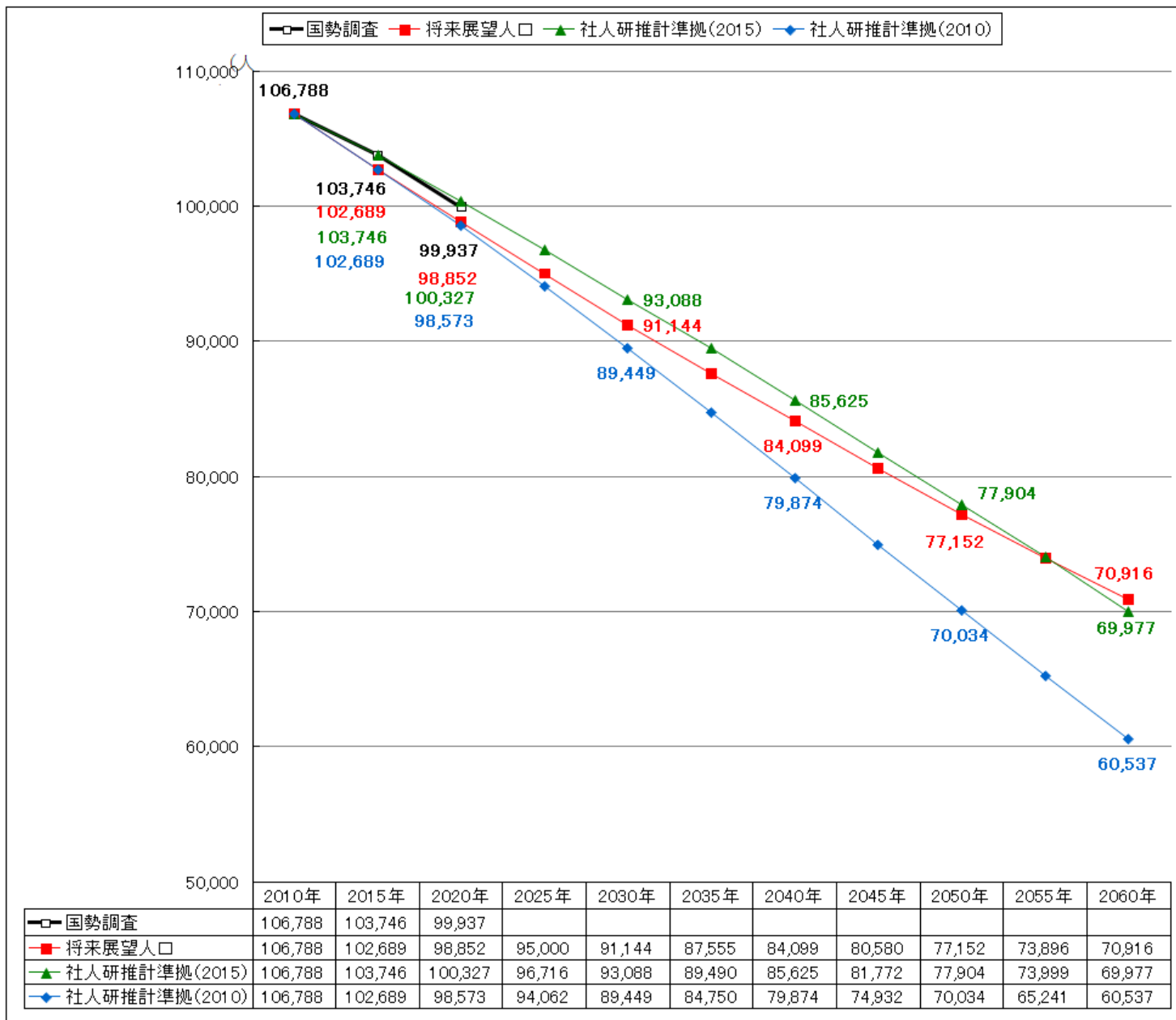
2019年（令和元年度）	1.48
--------------	------

## 高齢化率（毎月流動人口）

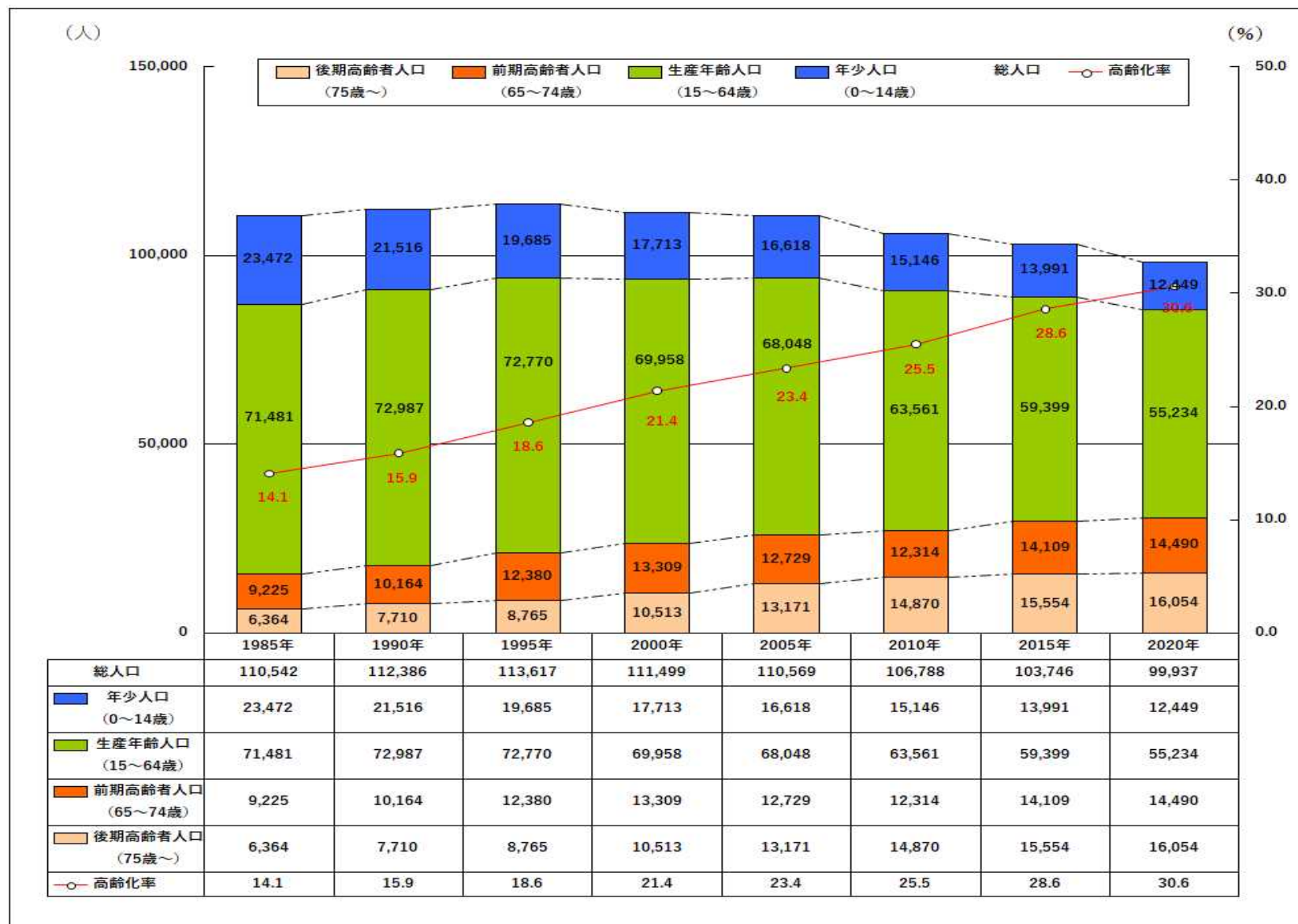
2021年（令和3年）	30.9%
-------------	-------

令和3年の毎月流動人口は、令和2年国勢調査結果99,937人（令和2年10月1日）より、自然動態△628人、社会動態△296人により99,013人（令和3年10月1日）となり、924人の減となった。また、合計特殊出生率は1.48（令和元年度）で、高齢化率は、30.9%となっており、少子高齢化が進んでいる。

図表1: 令和3年毎月流動人口の実績と人口推計シミュレーションとの比較

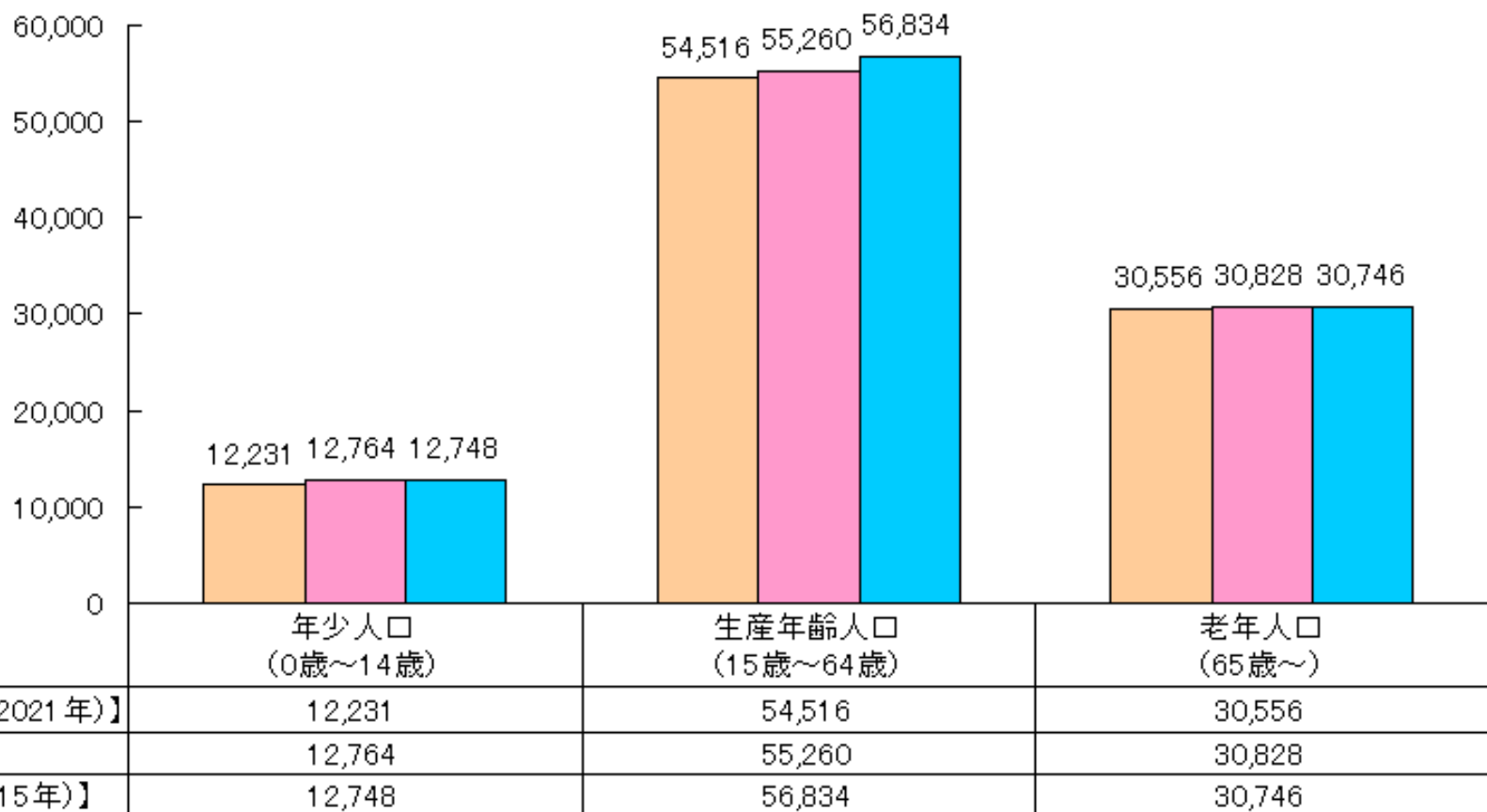


図表2:令和3年の年齢区分人口と推移



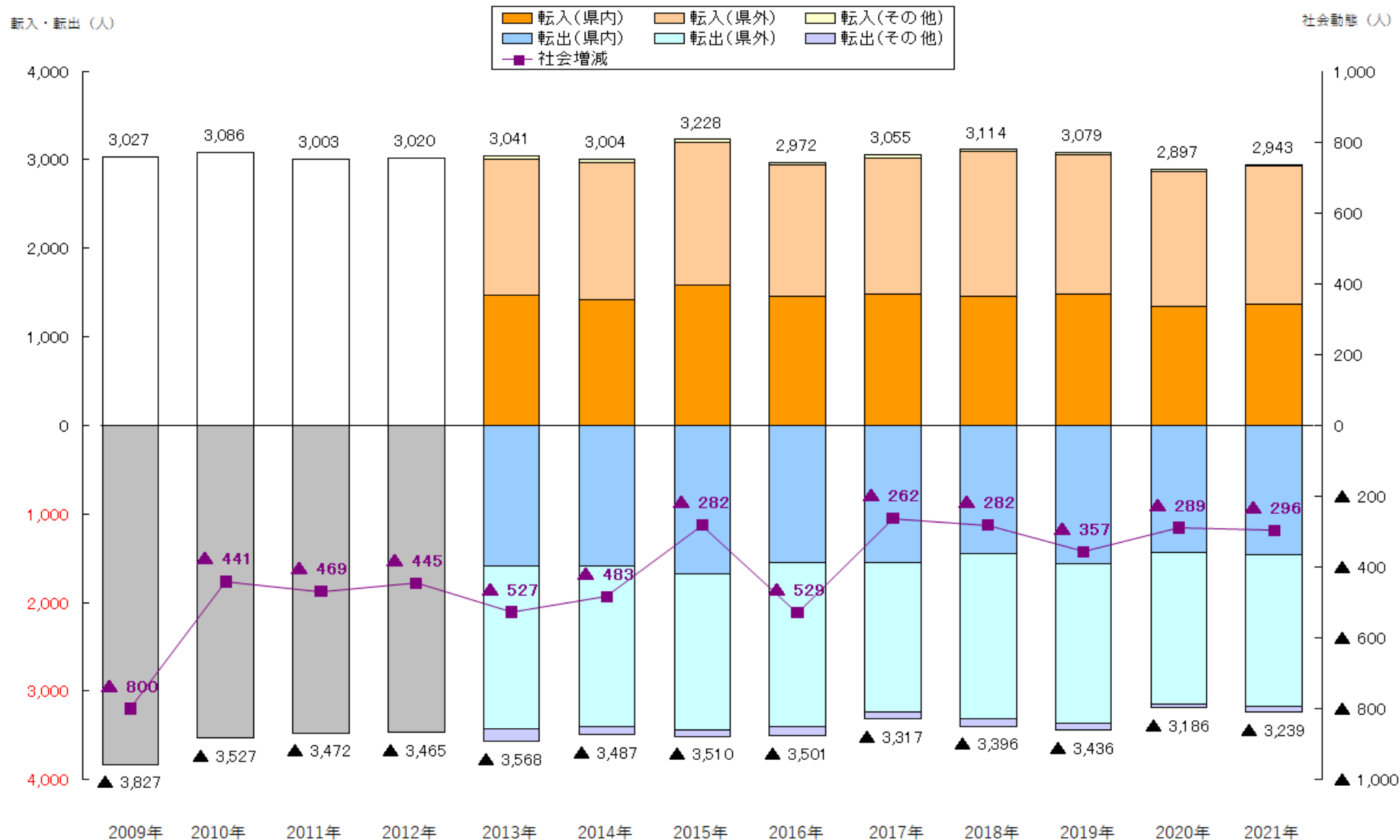
図表3: 令和3年の年齢区分(毎月流動人口)実績値と将来展望人口推計値の比較

■実績値【流動人口(2021年)】 ■将来展望人口 ■推計値【社人研(2015年)】

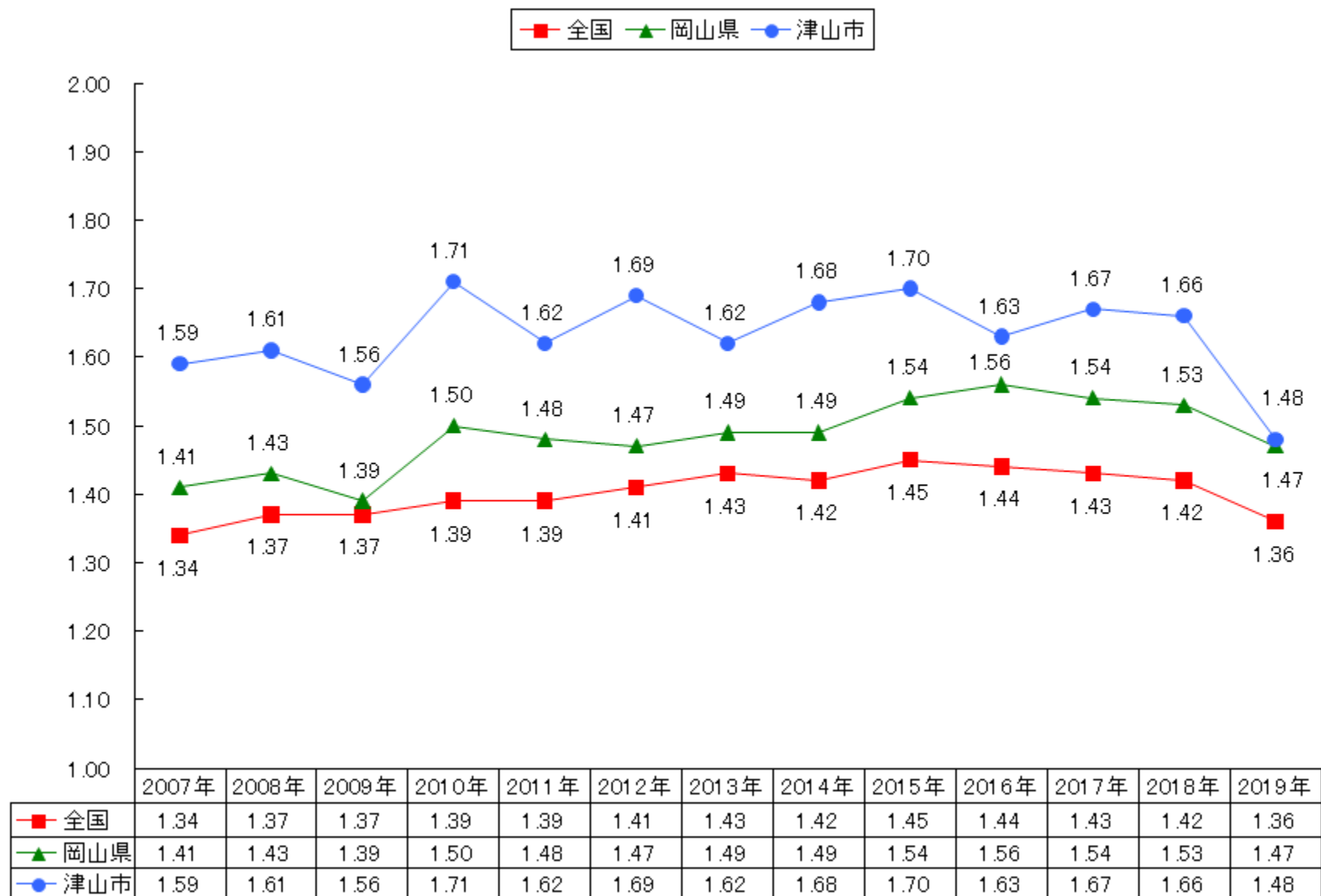


※実績値は年齢不詳を含まない

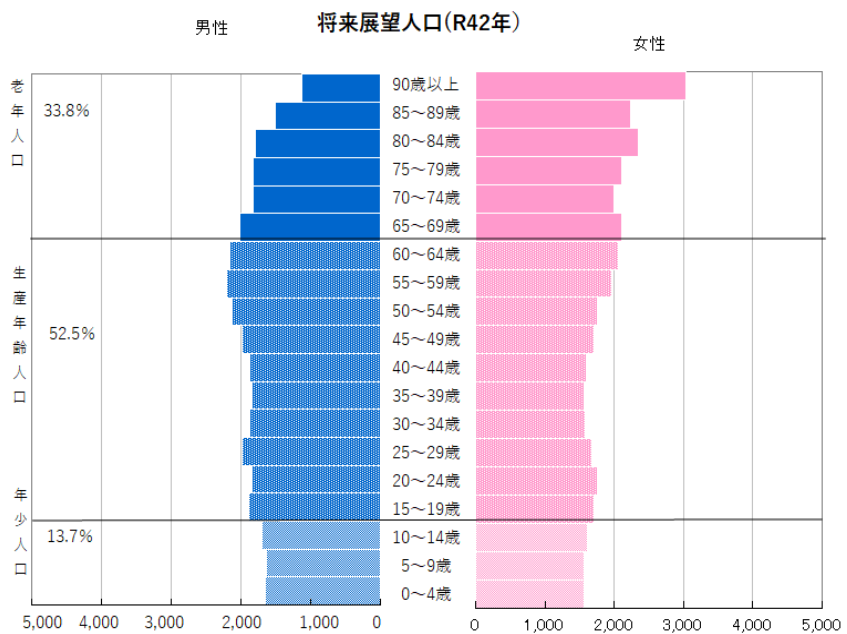
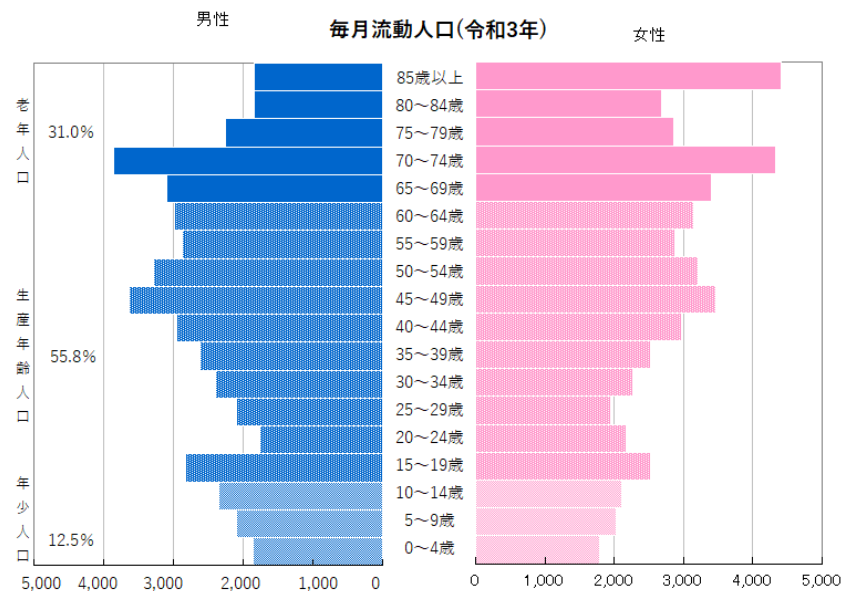
# 図表4:社会動態(転入・転出)の推移



図表5: 令和元年度の合計特殊出生率と推移



図表6: 年齢区分(毎月流動人口)と将来展望人口の人口ピラミッドの比較



## 第2期「津山市まち・ひと・しごと創生総合戦略」における 令和3年度の数値目標及び重要業績評価指標（KPI）の状況

### 【数値目標】

総合戦略における数値目標のうち、「目標値を達成」しているものは3、「順調に推移」しているものは6となっている。また、「取組強化・改善」が必要となった数値目標は9で下記のとおりとなっている。

- ・林業：林業従事者数 ・年間観光客入込数 ・婚活事業でのマッチング数 ・新規学卒者の地域内就職者数
- ・合計特殊出生率 ・全国学力調査：学習状況調査の偏差値50を小中学校ともに超える

### 【基本目標ごとに設定されたKPIの状況】

基本目標ごとに設定されたKPIのうち、「目標を達成」しているものは11、「順調に推移」しているものは59となっている。また、「取組強化・改善」が必要となったKPIは46で、主なものは下記のとおりとなっている。

- ・基本目標Ⅰ ・学校給食への津山産食材使用割合 ・つやま和牛を提供する市内の飲食店 ・地域商社の売上高 など
- ・基本目標Ⅱ ・サテライトオフィスを利用する県外の企業数 ・移住相談、移住体験等による県外からの移住決定者数 など
- ・基本目標Ⅲ ・結婚支援事業への参加者数 ・年間病児保育利用者数 ・まちなか子育て支援拠点の利用者数 など
- ・基本目標Ⅳ ・講座開催回数（公共交通乗り方講座）・市民のマイナンバーカードの取得割合

※ 数値目標及びKPIにおいて「取組強化・改善が必要」となったものは、令和3年度においても新型コロナウイルス感染症などに影響されている事業もあるが、目標達成が困難となっているため、今後更なる事業の推進が必要となる。

### 総合戦略における数値目標の状況

◎	○	△	その他	合計
3	6	9	1	19

うち赤○は1 うち赤△は3

#### 評価の基準

下記の3区分で評価

「◎：目標値を達成」

「○：順調に推移」

（目標達成が可能と思われる）

「△：取組強化・改善が必要」

### 基本目標ごとに設定されたKPIの状況

基本目標	◎	○	△	その他 (事業完了) (開始前) (小計)			合計
Ⅰ 地域経済を活性化させ、安定した雇用を創出する。	0	36	27	1	1	2	65
Ⅱ 誇りと魅力を感じるまちづくりで、津山市への新たな人の流れを創出する。	1	6	8		1	1	16
Ⅲ 若い世代を中心として、結婚・出産・子育ての希望がかなうまちを実現する。	7	7	7		1	1	22
Ⅳ これからの時代に対応した持続可能なまちづくりと地域間連携を進める。	3	10	4	1	3	4	21
計	11	59	46	2	6	8	124

うち赤○は12 うち赤△は24

※赤○赤△は、新型コロナウイルス感染症により影響のあったもの